

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡崎校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用者様一人一人が集中して課題に取り組むことが出来るように、スペースの確保をしている。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で定められた人数の職員を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		洗面所には段差があるため、使用の際は支援員が近くで見守っている。	洗面所、トイレを使用する際に段差を上る必要があり、今後利用者様の状況によっては、改善が必要か検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃を行い、支援ごとに消毒し清潔を保っている。	心地よく過ごして頂くために、必要に応じてレイアウトを変更して支援を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		項目ごとに会議や打ち合わせの時間を設け、職員全員で共有している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所評価を実施し、ご意見を頂き業務の改善に繋げている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開し、SNS からも閲覧できるようにしている。	頂いたご意見をもとに改善が必要なことに関しては早急に改善を行い、改善内容記載した評価表を校舎内に掲示する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価を行っていないが、ご要望に応じて導入の検討が必要になると考える。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回以上の内部研修を受ける機会を設けている。	希望者は社外で行われる研修にも参加できる。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを基に、職員間で共有し計画の作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内で統一されたツールを使用し、全員職員が閲覧できるようにしている。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿ってひとりひとりに合った支援内容を設定している。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿って支援を行っている。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必要に応じて利用者様に関わる職員複数名で立案を行っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々のフィードバックにて保護者様からのご要望を受け、プログラムを工夫している。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育のご要望に合わせて計画を作成している。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にてその日の内容、役割分担の確認を行っている。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		常に情報の共有が出来るように連携を密にしている。	必要に応じて休みの職員も共有できるよう社内ツールを使用し、閲覧できるようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当者ごとに支援記録を入力し、業務に関しては業務日誌を作成している。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、担当者が参加している。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			ご要望に応じて関係機関と連携していく。
		㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		学校、幼稚園、保育所など関係機関と連携できるように施設見学を実施。	医療的ケアが必要なお子さんの受け入れを行っていない。 引き続き関係機関とスムーズな連携が出来るよう努める。
		㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）	○			医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障害のお子さんの受け入れを行っていないが、医

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				療機関と連絡体制を整えている。	
㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		利用者様の通所している幼稚園、保育園との連携が出来ていないが今後行っていきたい。	
㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		一部の特別支援学校に見学に行っているが、情報共有はできていない為、今後連携できるように進めていく、	
㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		各支援センターとの連携は進めている。研修等については今後参加していきたい。	
㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流等実施していないが、ご要望に応じて検討していく。	
㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		主に児童発達支援管理責任者が協議会に参加している。	機会があれば他の職員も参加していく。	
㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回のフィードバックと通して保護者様と連携し共通理解を持てるよう努力している。		
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	相談がある場合は個別に事業所内相談支援を行い、家族支援を行っている。	ペアレント・トレーニングと銘打って支援を行っていないが、ご要望があれば実施していく。	
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご説明し確認いただいている。	ご質問があれば都度対応していく。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		新規ご利用、継続ご利用の際、ガイドラインに基づき支援計画の説明を行い、同意の署名を頂いている。	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別に相談に応じ、対応している。	
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		個別対応のため。父母の会などの開催はないが、ご要望に応じて対応していきたい。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談を受けた職員が他の職員に共有し、職員全体で対応している。	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログ、LINE、Instagram 等で発信を行っている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的、聴覚的に配慮し、すべての利用者様に伝達できるよう工夫している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	ご迷惑にならないよう、近隣の住民に対して個別で対応している。	地域住民の招待は行っていない。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを作成し、定期的に会議、訓練を行っている。	利用者様にもわかりやすい場所に掲示するなど周知を図っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間スケジュールに沿って訓練と会議を行っている、	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご契約時に健康状態について確認している。	
非常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事やおやつの提供を行っていない。水分についても持参いただいている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		校舎全体で確認できるようにしている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止会議を行い、適切な対応について確認している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別支援計画に記載し、契約時、支援計画更新時に毎回ご説明し、ご了承いただいている。	身体拘束についての会議を行い、やむを得ず身体拘束を行う場合について確認をしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校

保護者等数（児童数）：14 回収数：12 割合：85.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	3		法令で定められた人数の職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	0	1		洗面台の部分に段差があるため、支援員が近くで見守り、注意を促している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1	0	0		ご要望を把握し活動プログラムを作成している。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	3	4		個別療育となるため交流の設定はないが、ご要望があれば検討していく。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	1	7		ご要望に応じてペアレント・トレーニングの実施も検討していく。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	3	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	0	4		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	6	4	個別の支援なので、特に求めている。子ども同士の交流もないので。	現時点で保護者同士の交流の機会はないが、ご要望があれば検討していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	3		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	4		ブログ、LINE、Instagram等で発信しているが、周知を図っていく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	1	5		閲覧できるように見やすい場所に掲示する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	1	8		利用者様参加の訓練の実施を計画していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	1		通所を楽しみにして頂けるよう、努めていく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0		ニーズをきちんと把握し、満足して頂けるような支援を行えるよう改善していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。